

皇太子殿下行啓と公会堂

明治44年(1911)、皇太子殿下(のちの大正天皇)が北海道を行啓されました。行啓は約1ヵ月間、北海道各地を巡る大規模なものでした。

函館での2泊3日の滞在中、公会堂を御旅館として、区内の多くの施設を巡られました。

公会堂が滞在中の御旅館になることが決まったのは建設工事中の明治43年のことでした。行啓に相応しい建物にするため、急きょ建物を増築し、一部の部屋が改修されました。